

## 教育予算の拡充について

関東部会提出

説明担当 三浦市

子どもたちに豊かな教育を保障することは、子どもたちが将来にわたり幸福な生活を営んでいくため、また、将来の我が国や社会を担っていく人材を育てていくため、極めて重要である。特に現下の社会状況においては、学校において、一人一人の子どもにきめ細かな対応をすることが喫緊の課題となっている。

しかし、地方財政の逼迫等により、自治体において教育予算を確保することが困難な状況となっており、就学援助等の教育環境においても、自治体間の格差が広がってきている。また、低所得者層の拡大・固定化が進んでいることから、各家庭の所得の格差が教育の格差につながってきている。

このような状況の中、自治体の財政力や保護者の所得によって、子どもたちが受ける教育の水準に格差が生じないように、国の教育予算の確保・充実を図り、次の事項を実現されるよう強く要望する。

- 1 国際社会の中で活躍できる心豊かでたくましい人づくりのため、国内総生産に占める国財政による初等・中等教育費の割合を増大させること。
- 2 きめ細かい教育の実現を図り、我が国の将来を担う人材を育成するため、財政的措置を講ずること。
- 3 教育の機会均等とその水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、国の負担割合を拡大すること。